

平成24年（2012年）度

第2次

金沢大学大学院法務研究科

入学試験問題

刑 法

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。

平成24年度(2012年度)金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

試験科目	刑	法
------	---	---

問題 以下の文章を読んで、Aの罪責を論じなさい(なお、Bとの共犯関係については論じなくてよい)。

Aは、手の平で患部をたたいてエネルギーを患部に通すことにより、自己治癒力を高めるという独自の「シャクティ治療」を施す特別の能力があるとして信奉者を集めていた。その信奉者であったXが、脳内出血で病院に入院し治療を要するところ、やはりその信奉者であったXの長男Bが同治療をAに依頼して、Xを無理に退院させ、シャクティ治療を受けさせた。Aは、Xの容態を見て、そのままでは死亡する危険があることを認識したが、同治療をXに施すにとどまり、必要な医療措置を受けさせないままXを約1日間放置し、痰による気道閉塞に基づく窒息により死亡させた。